

「品質管理レビューの概要」(冊子)に関するアンケート結果(要約)

2020年11月

I 目的

2020年度の「品質管理レビューの概要」等の作成の参考とするため

II 方法

アンケート用紙を「品質管理レビューの概要」(冊子)に同封し郵送
回答は、協会ウェブサイト、FAX、電子メール、郵送で提出

III 提出期間

2020年7月2日から2020年9月28日まで

IV 対象及び回答数

アンケートの対象者及び対象者の種別ごとの回答数は、以下の表のとおりである。

	発送数	回答数	回答率(%)
上場会社(監査役等)	3,791	171	4.5
CPA 社外役員	934	4	0.4
機関投資家	872	6	0.7
レビュー対象監査事務所	207	16	7.7
協会関係学識者	19	1	5.3
合計	5,823	198	3.4

V 回答方法

利用されたアンケートへの回答方法は、以下の表のとおりである。

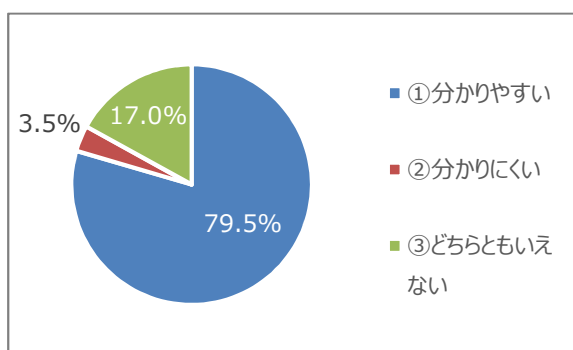
	Web	メール	FAX	郵送
上場会社(監査役等)	140	10	21	0
CPA 社外役員	4	0	0	0
機関投資家	4	2	0	0
レビュー対象監査事務所	14	2	0	0
協会関係学識者	1	0	0	0
合計	163	14	21	0

VI アンケート項目

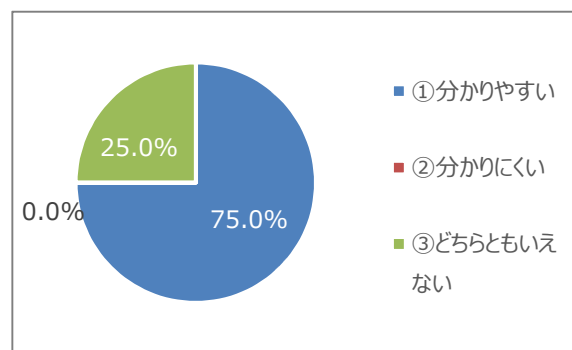
Q 1 全体を通して、「本冊子」の記載内容は分かりやすいと思われたでしょうか。（共通質問項目）

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	機関投資家	レビュー対象 監査事務所	協会関係学識者
① 分かりやすい	136	3	4	16	1
② 分かりにくい	6	0	0	0	0
③ どちらともいえない	29	1	2	0	0
合計	171	4	6	16	1

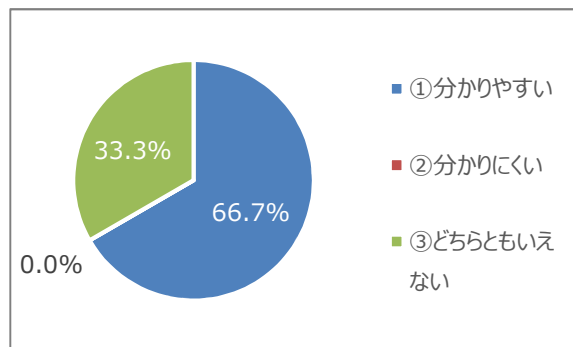
■ 上場会社（監査役等）



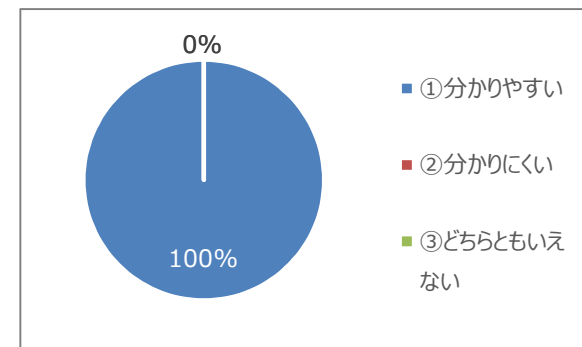
■ CPA 社外役員



■ 機関投資家



■ レビュー対象監査事務所



※協会関係学識者からの回答数は僅少であるため、グラフ化を省略した。

Q 1について「分かりやすい」と回答した割合は、全体として8割を超えており、上場会社（監査役等）の割合は79.5%（171名中136名）、CPA社外役員の割合は75%（4名中3名）、機関投資家の割合は66.7%（6名中4名）、レビュー対象監査事務所の割合は100%（16名中16名）であった。

また、「分かりにくい」と回答した割合は全体として低い一方で、「どちらともいえない」と回答した割合が一定数あった。

**Q2 「本冊子」の記載のうち、特に、分かりやすいと思われた項目及び分かりにくいと思われた項目は何ですか。
該当する項目に○をご記載ください。（複数選択可）（共通質問項目）**

オレンジ：「分かりやすい」90%以上 水色：「分かりにくい」30%以上 ()内の数字は回答率

選択肢	上場会社 (監査役等)		CPA 社外役員		機関投資家		レビュー対象 監査事務所		協会関係学識者	
	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい	分かり やすい	分かり にくい
①自主規制団体としての 日本公認会計士協会の 取組	114 (91.9%)	10 (8.1%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
②品質管理レビュー制度 等	135 (91.8%)	12 (8.2%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
③品質管理レビューの実 施状況及び実施結果	123 (91.8%)	11 (8.2%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	12 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
④通常レビューにおける改 善勧告事項	115 (84.6%)	21 (15.4%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
⑤改善勧告事項となった 原因と対策（改善措 置）	116 (84.7%)	21 (15.3%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
⑥上場会社監査事務所 登録制度	105 (86.7%)	16 (13.3%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
⑦上場会社監査事務所 名簿等の状況	96 (86.5%)	15 (13.5%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
⑧品質管理審議会からの 勧告事項への対応	88 (78.6%)	24 (21.4%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	7 (77.8%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
⑨自主規制の機能向上 に係る制度変更	89 (73.6%)	32 (26.4%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	10 (90.9%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
⑩今後の行動計画	92 (86.0%)	15 (14.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
（参考1）上場会社監 査事務所名簿等に登録さ れている監査事務所の概 況	101 (94.4%)	6 (5.6%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	8 (88.9%)	1 (11.1%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
（参考2）上場会社の 会計監査人の異動状況	111 (91.7%)	10 (8.3%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
合 計	1,285 (86.9%)	193 (13.1%)	22 (81.5%)	5 (18.5%)	49 (92.5%)	4 (7.5%)	119 (96.0%)	5 (4.0%)	8 (66.7%)	4 (33.3%)

※協会関係学識者からの回答数は僅少であるため、網掛けを省略した。

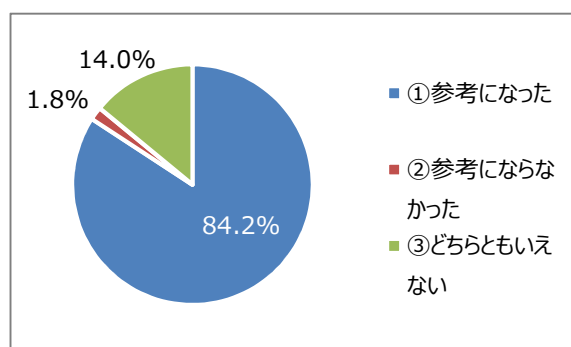
Q2に対して寄せられた主なコメントは、以下のとおりである（CPA 社外役員及び機関投資家からのコメントはなかった。）。

通番	Q2に対して寄せられた主なコメント（監査役等）
1	会計監査人のアセスメントの際に資する内容。品質管理レビューの内容は大いに参考になる。
2	全体を通して前年度等からの変化・改善傾向も記載されていると有難い。業界全体として改善が図られているか否かを補足いただければ有難い。
3	具体的な事例や具体的な名称を表現できないことは理解できるが、全般に抽象的な表現なので、分かりにくい。ボリュームはあるが、事例解説集の方が理解しやすい。
4	「①日本公認会計士協会の取組」は、協会業務の全体像を図示されていますが、②以降の構成（品質管理レビュー制度など）に関して俯瞰的な図示、つまり目次のようなものがあれば、より分かり易くなると思いました。
通番	Q2に対して寄せられた主なコメント（レビュー対象監査事務所）
1	品質管理審議会からの勧告事項についてはもう少し具体的に記載していただくと利用者により伝わるのではないかとと思う
通番	Q2に対して寄せられた主なコメント（協会関係学識者）
1	基本的な解説が含まれているパンフレットなので、品質管理レビュー制度に詳しくない方に向けているものと仮定して上記の回答をしている。制度がある程度理解されている方に向けているのであれば、「わかりにくい」項目はない。

■ 上場会社（監査役等）のみ質問項目

Q3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、会計監査人とのコミュニケーションに当たり、参考となりましたか。

選択肢	上場会社 (監査役等)
①参考になった	144
②参考にならなかった	3
③どちらともいえない	24
合計	171

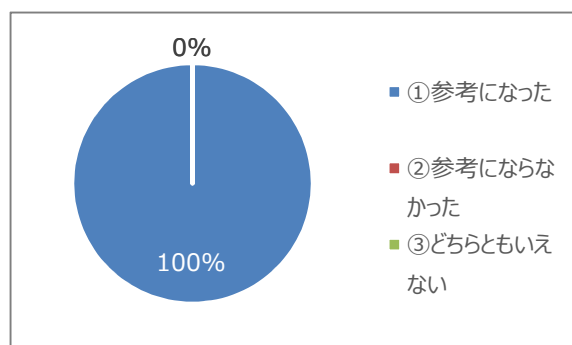


■ CPA 社外役員・協会関係学識者への質問項目

Q 3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、品質管理レビュー制度の概要と結果の理解に当たり、参考となりましたか。

選択肢	CPA 社外役員	協会関係 学識者
①参考になった	4	1
②参考にならなかった	0	0
③どちらともいえない	0	0
合計	4	1

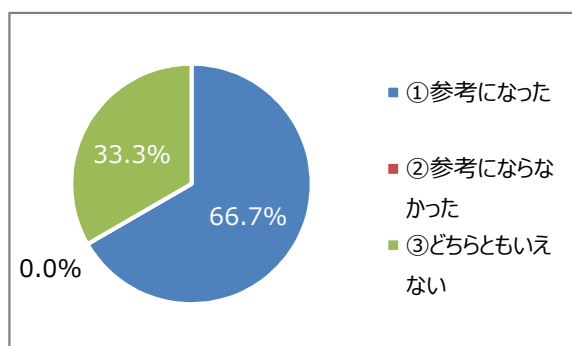
※協会関係学識者からの回答数は僅少であるため、グラフ化を省略した。



■ 機関投資家のみ質問項目

Q 3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、会計監査（公認会計士監査）及び品質管理レビュー制度の理解に当たり、参考となりましたか。

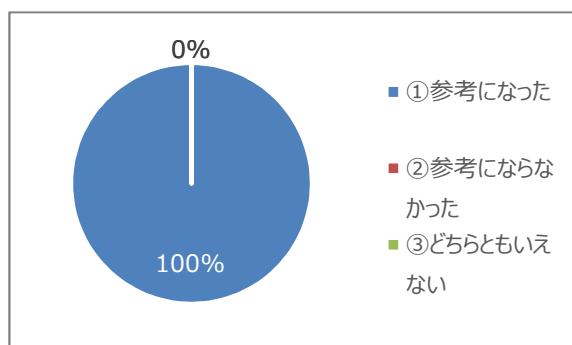
選択肢	機関投資家
①参考になった	4
②参考にならなかった	0
③どちらともいえない	2
合計	6



■ レビュー対象監査事務所のみ質問項目

Q 3 全体を通して、「本冊子」の記載内容は、品質管理レビュー制度の理解及び監査役等とのコミュニケーションに当たり、参考となりましたか。

選択肢	レビュー対象 監査事務所
① 参考になった	16
② 参考にならなかった	0
③ どちらともいえない	0
合計	16



Q4 「本冊子」の記載のうち、特に参考になった項目は何ですか。（複数選択可）

黄色：特に回答が多かった項目

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	機関 投資家	レビュー対象 監査事務所	協会関係 学識者
① 自主規制団体としての日本公認会計士協会の取組	30	1	1	4	0
② 品質管理レビュー制度等	90	1	2	10	0
③ 品質管理レビューの実施状況及び実施結果	92	2	0	13	0
④ 通常レビューにおける改善勧告事項	88	2	3	11	1
⑤ 改善勧告事項が生じた原因と対策（改善措置）	97	0	2	7	1
⑥ 上場会社監査事務所登録制度	22	0	0	1	0
⑦ 上場会社監査事務所名簿等の状況	20	0	0	1	0
⑧ 品質管理審議会からの勧告事項への対応	29	0	2	3	1
⑨ 自主規制の機能向上に係る制度変更	34	2	0	6	0
⑩ 今後の行動計画	16	1	0	2	1
（参考1）上場会社監査事務所名簿等に登録されている監査事務所の概況	17	1	0	2	0
（参考2）上場会社の会計監査人の異動状況	45	2	1	4	0
合計	580	12	11	64	4

上場会社（監査役等）は「③品質管理レビューの実施状況及び実施結果」及び「⑤改善勧告事項が生じた原因と対策（改善措置）」を、会計監査人とのコミュニケーションに当たり参考になった項目として挙げている。

レビュー対象監査事務所は、「③品質管理レビューの実施状況及び実施結果」及び「④通常レビューにおける改善勧告事項」を、品質管理レビュー制度の理解及び監査役等とのコミュニケーションに当たり、特に参考になった項目として挙げている。

なお、Q4に対して寄せられた主なコメントは、以下のとおりである（CPA 社外役員、機関投資家及びレビュー対象監査事務所からのコメントはなかった。）。

通番	Q4に対して寄せられた主なコメント（監査役等）
1	品質レビュー制度の理解が進み、今後の監査人との連携の中で監査人の品質システムに関しても確認しやすくなった。
2	品質管理や事務所規模の確認等で活用させて頂いています。
3	品質管理レビューについて会計監査人から説明をいただいたことがあるが、この冊子を読んで全体像が良く理解できた
4	今後会計監査人とのコミュニケーションを推進していくうえで参考になりました。 会計監査人を異動した理由、上位3つの「監査人の対応の適時性や人員への不満」「監査報酬」「継続監査期間」について、もう一段踏み込んだ情報の展開があれば、一層参考になります。
5	今後の監査の改善に向けた具体的な対応を確認する上で、事例解説集と共に参考になった。
通番	Q4に対して寄せられた主なコメント（協会関係学識者）
1	データが示されている点が重要だと考える。

Q5「本冊子」は毎年度、作成し公表している「品質管理委員会年次報告書」（以下「年次報告書」といいます。）の概要編を冊子としたものです。「年次報告書」をご存知ですか。

なお、2020年度の「年次報告書」が掲載されている協会ウェブサイトは次のURLとなります。

<https://jicpa.or.jp/about/activity/self-regulatory/quality/#anchor-01>

（共通質問項目）

選択肢	上場会社 (監査役等)	CPA 社外役員	機関投資家	レビュー対象監 査事務所	協会関係 学識者
①毎年度、読んでいる	34	0	0	10	0
②読んだことがある	54	2	4	6	1
③知っているが読んだことがない	48	1	0	0	0
④知らなかった	30	1	2	0	0
未記入	5	0	0	0	0
合計	171	4	6	16	1

「毎年度、読んでいる」及び「読んだことがある」と回答した割合は、上場会社（監査役等）が51.5%（171名中88名）、レビュー対象監査事務所が100.0%（16名中16名）であった。

Q6 「本冊子」及び「年次報告書」について、改善すべき点等、ご意見、ご要望があればご記載願います。

(共通質問項目)

上場会社（監査役等）から16件、CPA 社外役員から1件、協会関係学識者から1件の意見、要望があった。

主な意見・要望は、以下のとおりである。

通番	寄せられた主なコメント（監査役等）
1	とても参考になりました。会計監査人選任の際の参考になります。 毎年、監査法人より「日本公認会計士協会の品質管理レビュー及び公認会計士・監査審査会の検査の結果等について」の報告書説明を聴取しておりますが、今回、はじめて本冊子を一読させて頂いた結果、「公認会計士協会」の更なる取り組みが、理解できるようになり大変参考になりました。
2	会計や監査の専門家でなくても理解できるよう、補足などを増やしてもらえるとより分かりやすい。
3	各項目に要約があると分かりやすかったと思います。日本公認会計士協会が品質管理の向上に力を入れているのは理解できますが、被監査会社から見ると、監査手続が毎年同じようなものであるため、監査の向上につながっているのかよくわからない印象がございます。被監査会社から見た品質管理レビューの利点をご案内頂ければ幸いです。
4	協会の自主規制団体としての取組みとしては一定の理解はできるが、上場会社の監査の約8割をカバーしている上位5監査法人の状況をより明示的に説明していただけないと、あまり参考にならないと思われます。
通番	寄せられたコメント（CPA 社外役員）
1	冊子についてはありませんが、スマホでアンケートの回答をしようとすると、非常にみづらいです。
通番	寄せられたコメント（協会関係学識者）
1	過年度の報告書等も容易に見ることができればよい。

以 上